国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和元年１１月５日
震災伝承ネットワーク協議会

世界防災フォーラム／防災ダボス会議＠仙台 2019

震災伝承ネットワーク協議会セッション聴講申込み受付中

震災伝承ネットワーク協議会（会長：東北地方整備局長）は、11 月 9 日～12 日に仙台市で開催する世界防災フォーラムの一般公開セッションとして、「東日本大震災の教訓を伝える 3.11 伝承ロード　～産・学・官・民が連携した震災伝承の取り組み～」をテーマにパネルディスカッションを行います。

東北地方整備局 HP で聴講の申込みを受付しています。

（参加費無料、先着順 700 名）

■　日　時　：　令和元年 11 月 10 日(日)　18:00～19:30

■　会　場　：　仙台国際センター　大ホール

■　テーマ　：　東日本大震災の教訓を伝える 3.11 伝承ロード
～産・学・官・民が連携した震災伝承の取り組み～

コーディネーター：	東北大学災害科学国際研究所　准教授	佐藤　翔輔
パネリスト：	熊本県益城町長	西村　博則
	高知県黒潮町長	大西　勝也
	宮古観光文化交流協会　学ぶ防災ガイド	元田　久美子
	一般社団法人東北観光推進機構　専務理事	紺野　純一
	東北地方整備局企画部長	西尾　崇

■　申込み　：　東北地方整備局 HP 上の申し込みフォーム
（http://www.thr.mlit.go.jp/2019wbf/）よりお申し込みください。

■　報道関係：　取材をご希望される場合は、下記の世界防災フォーラム HP を確認の上、世界防災フォーラム運営事務局へお申し込みください。
（http://www.worldbosaiforum.com/2019/press/index.html）

【記者発表会】
宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問合せ先

震災伝承ネットワーク協議会事務局（国土交通省東北地方整備局企画部）
震災対策調整官　大森（おおもり）　祐一（ゆういち）　（内線3118）
企画課　建設専門官　松本（まつもと）　章（あきら）　（内線3153）
TEL:022-225-2171（代表）　FAX:022-221-9890

World BOSAI Forum
IDRC 2019 in SENDAI

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2019
World Bosai Forum／IDRC 2019 in Sendai

入場無料

一般公開セッション

東日本大震災の教訓を伝える
3.11伝承ロード
～産・学・官・民が連携した震災伝承の取り組み～

教訓が、いのちを救う。

東日本大震災から８年余りが経過し、震災の記憶の風化が危惧されています。
過去の災害から得られた教訓が伝わっていれば防げる被害もあったと言われています。
震災伝承ネットワーク協議会では、産学民と連携し、震災の記憶と教訓を伝える道「3.11伝承ロード」の構築を目指して動き出しました。
「命を守る教訓」を国内外に発信し防災力を高め、人が対流することで地域の元気創出につなげるための取り組みについて、本セッションで議論します。

2019.11.10（日）
18:00▶19:30
仙台国際センター大ホール

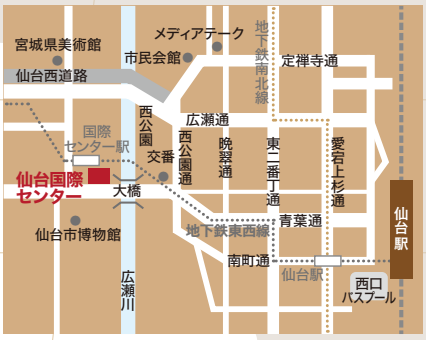
定員700名
参加申込みは下記URLから

国土交通省東北地方整備局
公式WEBサイト

東北地方整備局

http://www.thr.mlit.go.jp/2019wbf/

事前申込み優先　当日参加も可



【アクセス】地下鉄東西線・国際センター駅より徒歩１分

（一社）建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム　201910110006　1.50単位

【主催】震災伝承ネットワーク協議会（東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市）
【共催】東北大学災害科学国際研究所　　【協力】(一財)3.11伝承ロード推進機構
【後援】復興庁、観光ビジョン推進東北ブロック戦略会議（東北運輸局、東京航空局、国土地理院東北地方測量部、仙台管区気象台、東北総合通信局、東北財務局、東北農政局、東北経済産業局、東北地方環境事務所、仙台国税局、(独)国際観光振興機構、日本貿易振興機構、秋田県、山形県、(一社)東北観光推進機構、(公社)日本観光振興協会東北支部、(一社)日本旅行業協会東北支部、(一社)全国旅行業協会東北地方支部長連絡会、(一社)日本旅館協会東北支部連合会、(一社)日本ホテル協会東北支部、東北鉄道協会、東北索道協会、東北六県バス協会連合会、東北ハイタク連合会、全国レンタカー協会東北地区連合会、東北旅客船協会、(一社)東北経済連合会、東北六県商工会議所連合会、仙台国際空港(株)、東日本旅客鉄道(株)）、
(一社)日本建設業連合会東北支部、(一社)建設コンサルタンツ協会東北支部、(一社)東北測量設計協会、(一社)東北地域づくり協会、東北建設業協会連合会、東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、秋田魁新報社、山形新聞、福島民報社、福島民友新聞社、建設新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社東北支社

World BOSAI Forum
IDRC 2019 in SENDAI

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2019
World Bosai Forum／IDRC 2019 in Sendai



一般公開セッション

東日本大震災の教訓を伝える
3.11伝承ロード
～産･学･官･民が連携した震災伝承の取り組み～

登壇者



●コーディネーター
東北大学災害科学国際研究所　准教授

佐藤（さとう） 翔輔（しょうすけ）

京都大学大学院博士後期課程修了、博士（情報学）、日本学術振興会特別研究員（DC2）、東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教、東北大学災害科学国際研究所助教を経て、平成29年より現職。専門分野は災害伝承・災害情報等。政府・宮城県・県内市町村等で各種委員・アドバイザーをつとめる。科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（振興部門）、地域安全学会 年間優秀論文賞・技術賞、日本災害情報学会 河田賞・阿部賞など、多数受賞。



●パネリスト
高知県黒潮町　町長

大西（おおにし） 勝也（かつや）

昭和45年高知県幡多郡黒潮町出身。平成元年より海外で洋ラン栽培などを学び、平成12年に農業従事。平成17年大方町・佐賀町合併協議会委員に着任。平成20年黒潮町地域協議会会長に就任。平成21年幡多ブロック青年農業士連絡協議会会長に就任。平成22年4月に黒潮町長に就任。現在に至る。



●パネリスト
熊本県益城町　町長

西村（にしむら） 博則（ひろのり）

昭和31年熊本県出身。昭和50年㈱日立造船有明工場に入社。平成11年益城町総務課人事係長に着任。平成23年益城町保険課長に着任。平成24年益城町健康づくり推進課長に着任。平成26年5月益城町長に就任。平成28年4月、熊本地震発生。被災者への支援および復旧・復興の陣頭指揮にあたり、現在に至る。



●パネリスト
宮古観光文化交流協会　学ぶ防災ガイド

元田（もとだ） 久美子（くみこ）

平成23年3月11日岩手県北バス観光船事業部で勤務中に被災。平成24年4月1日宮古観光協会「学ぶ防災」として田老地区の案内スタート。平成26年（一社）宮古観光文化交流協会に勤め、平成29年宮古市の事業として継続。令和元年9月、ガイド5名でトータル17万人の方へのご案内を達成。



●パネリスト
一般社団法人東北観光推進機構
専務理事推進本部長

紺野（こんの） 純一（じゅんいち）

昭和25年生まれ。昭和43年日本国有鉄道入社。びゅうプラザ仙台所長などを経て、平成12年福島駅長、平成16年仙台駅長に就任。平成19年仙台ターミナルビル（株）に入社し、平成25年専務取締役 ホテル事業本部長に就任。平成29年4月（一社）東北観光推進機構 専務理事推進本部長に就任。現在に至る。



●パネリスト
国土交通省東北地方整備局　企画部長

西尾（にしお） 崇（たかし）

島根県出身、平成4年建設省入省。大分河川国道事務所長、東京国道事務所長などを経て平成30年7月から現職。大分水害を踏まえた防災・減災対策のほか、首都直下地震発生時の道路損壊や放置車両を想定した早期道路通行確保の企画立案を主導。現在は、東日本大震災直後に東京からマイカーで訪れて目の当たりにした被災地の光景を胸に、震災の教訓の伝承と事前の備えの周知に取り組む。

敬称略

お問い合わせ
震災伝承ネットワーク協議会事務局　（国土交通省東北地方整備局企画部企画課）
〒980-8602　宮城県仙台市青葉区本町3丁目3番1号　TEL.022-225-2171　FAX.022-221-9890
MAIL:thr-densho@mlit.go.jp